

【2026 年 12 月期 第 2 四半期 決算説明会 エグゼクティブサマリー】

重点成長領域の収益化加速と新規案件獲得により下期反転へ 堅固な事業基盤を背景に通期業績の達成を目指す

当社は、2026 年 8 月 14 日に開示しました 2026 年 12 月期 第 2 四半期 決算説明会について要約をいたしましたので、お知らせいたします。

■2026 年 12 月期 第 2 四半期 決算説明会動画

<https://youtu.be/pGbku6OPCI>

1. J リーグ全 60 クラブを網羅する独自エコシステムを確立し、資本業務提携を通じたスポーツ DX 投資を本格化

重点成長領域

スポーツコンテンツ | 全60クラブ網羅の『Edition1』をリリース

J2・J3への展開と新機能の追加によりターゲット市場を拡大
リリース直後より順調な立ち上がりを見せ、新シーズンへ向け好調に始動



全60クラブ網羅によるターゲット市場の拡大

J1に加えJ2・J3まで対象を拡大し、全60クラブの選手カードが登場
ファン・サポーターにリーチ可能な、巨大なファンエンゲージメント基盤が完成



新機能追加で気軽に遊べる体験の強化

身近な仲間と気軽に楽しめる新機能「フレンドリーグ」を実装
友達同士で遊べる環境を整え、ライト層の獲得拡大とコミュニティ活性化を促進



リアルカード配送開始による独自価値の確立

ユニフォームパッチ等の希少カードやシリアル付き「リアルカード」を配送
他社にない「デジタル所有からリアル資産への昇華」により高い顧客価値を創出

J リーグ公式の『J.League Fantasy Card』を展開し、デジタルトレーディングカードとファンタジースポーツを融合した独自のエコシステムを構築しています。パック販売の1次流通とマーケットプレイスでの2次流通がバランスよく拡大しており、シリアル入りの高品質なリアルカード化施策も大きな反響を得ています。新シーズンから全 60 クラブへ対象を拡大し、フレンドカップ等の機能実装や試合連動プロモーションにより新規ユーザー獲得を加速しています。さらに、Zero Gaming 社との資本業務提携および第三者割当増資（約 2 億円）を実施し、スポーツ DX への積極投資と他競技への展開を推進します。

2. 異業種 BPO や人材マッチング、開発ソリューションの多角化により、重点成長領域の売上高が5四半期連続で拡大

重点成長領域

重点成長領域の着実な成長

各領域の売上高は前年同期比で大幅増収、5四半期連続で過去最高を更新
先行投資を実施してきた重点成長領域の売上寄与が本格化



強みである機動的なチームアップ力を活かし、異業種 BPO、人材マッチング、開発ソリューションの各領域で多角化を進めています。人材マッチング事業は専門チームの合流により垂直立ち上げを見せ、年間2億円強の売上を見込める規模へ急成長しました。開発ソリューションでは1名単位から一括受託まで柔軟なニーズに対応し、マイネット独自の運営力を活かして案件を獲得しています。一時的な納期遅延等へのリカバリーを期内で進めつつ、各領域間のシナジーを創出することで、売上高は5四半期連続で拡大しており、下期以降の本格的な利益貢献を図ります。

3. 高水準な利益を生み出すセカンダリー事業において新規運営受託案件を獲得し、下期以降の堅固な収益基盤を堅持

セカンダリー

セカンダリー

強みの運営力を活かした周年・新レア施策の展開により、売上高は計画水準を堅持
コスト最適化を継続し、営業利益は計画比で大幅達成

社内計画比

売上高

計画

実績

100%

営業利益

計画

実績

112%

売上計画を維持しつつ、営業利益は計画比プラスで着地



売上高は計画水準を維持

売上高は計画比と同水準で概ね計画通り



営業利益は堅調に推移

主力タイトルの周年・新レア施策により計画を超過達成



持続的なコスト最適化施策

運営体制の効率化・外注費の圧縮を継続し、売上計画100%に対し利益超過を実現。長期運営タイトルの利益率を維持・向上



新規の運営業務受託契約を締結

Q4より運営開始し、セカンダリーの安定利益創出に貢献



16

長年培ってきた運営力を背景に、ゲーム事業は全社の成長を支える安定した収益基盤として機能しています。四半期売上高 20 億円超を確保しつつ、セカンダリー単独で営業利益 3 億円超を創出する高収益体質を維持しています。独自の運営チームアップ技術を強みに、第 2 四半期には新たな運営受託案件の獲得に成功し、第 4 四半期からの収益寄与が決定しています。本事業で創出される堅固な利益は、重点成長領域への投資基盤としながら、人材マッチングや開発ソリューションと連携したシナジー創出により、さらなる収益力の強化を図ってまいります。

4. 先行投資による上期赤字は第1四半期を底に改善傾向へ、下期の収益寄与により通期業績予想達成見込む

下期に向けて

上期の戦略的投資を経て営業利益はQ1で底打ち
下期は頑健な既存事業収益に各重点成長領域の収益貢献が加わり、通期業績予想の達成を目指す



上期の事業基盤投資を足がかりに下期成長を継続し、期初業績予想の達成を目指す



24

上期は重点成長領域への計画的な先行投資により営業損失を計上したものの、第1四半期を底として第2四半期には利益面で7,000万円の大幅な改善を達成しました。事業全体のモメンタムは強固であり、上期の赤字は想定範囲内となります。下期においては、セカンダリが創出する安定した利益に対し、新シーズンの本格稼働に伴うスポーツコンテンツ領域の収益貢献や、各重点成長領域の拡大、新規受託案件の収益寄与が上乗せされる構造が完成します。確実なコスト管理と増収施策の推進により、通期業績予想の達成に向けて順調に進捗しています。

【マイネットグループ】 <https://mynet.co.jp>

「Make COLOR - 毎日に感動を -」をミッションに掲げるエンターテインメント企業。
ゲームの長期運営・再成長を実現する独自の運営力を強みに、安定的な収益基盤を構築。
その基盤とノウハウをもとに、プロスポーツリーグ公式サービスの開発・運営を行うスポーツコンテンツ領域、ハイレベル人材のマッチングを行う人材マッチング領域、さらには企業の事業成長を支援する戦略コンサルティング領域へ展開し、持続的な成長を目指しています。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社マイネット IR 担当

お問合せフォーム： <https://mynet.co.jp/ir/contact>

その他のIR情報： <https://mynet.co.jp/ir>